

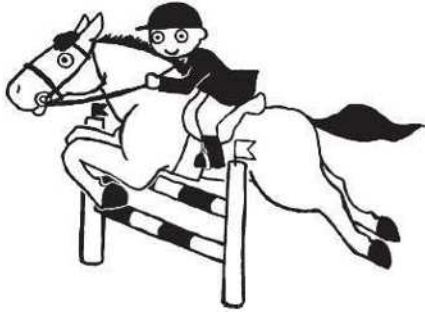
馬術競技とは？

人と馬が一体となって行うスポーツ馬術競技

大きく分けて2つの競技があります！

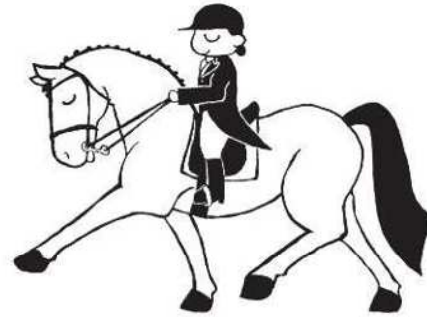
障害飛越競技

飛び越さなければ通過できない障害が設置されたコースを、乗馬して通過します。馬のジャンプなど障害飛越競技でしか味わえない迫力と音が楽しめます。



馬場馬術競技

馬を正確かつ美しく運動させることができるかを競い、馬のフィギュアスケートと言われた繊細な動きを競います。



国スポでは、馬場馬術競技と障害飛越競技を一人の選手と馬でおこなう国体総合馬術も実施されます。

国体総合馬術競技

馬術競技の魅力

馬術競技は、他のスポーツと異なり、生き物である馬と選手が一体となって競技を行うスポーツです。

馬は、鋭敏な感覚と自分の意思を持っており、いかに優れた技術を持った選手でも馬の力を借りなければ良い成績を収めることはできません。また、優れた能力を持った馬も、選手が馬の能力を引き出さなければ、良い演技を行うことはできないのです。選手が馬の能力を最大限に引き出し、馬も選手の要求に精一杯こたえようとする関係が結ばれたときに『人馬一体』の妙技が繰り広げられることとなります。

一般には、連動するためのエネルギーが馬の役割で、そのためのリズムとバランスを与えるのが騎手の役割だといわれています。

このため、選手は馬を愛し、馬を理解し、自分の馬がいつでも自分の指示に喜んで従い、どんな難しい運動でもできるように、また、どんな難しい障害でも、勇気を持って確実に飛び越せるように教え込んでおかなければなりません。このように馬の能力を引き出し、高めるための訓練を『調教』といいます。馬を十分に調教し人馬が信頼感で結ばれ、馬の弱点を選手が補い、選手のミスも馬が助けることで、初めて馬術競技において勝利が得られるのです。

競技性について

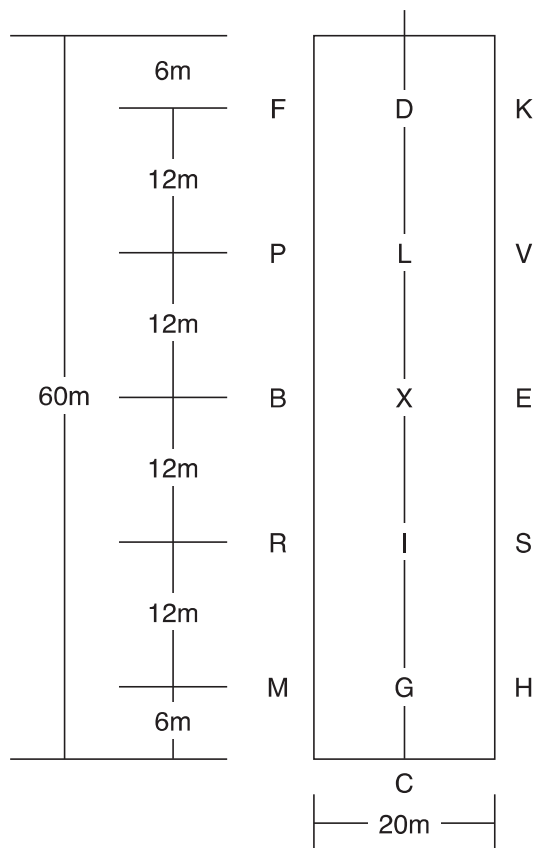
馬場馬術競技は、定められた種々の動き方をしてその優美さを競い、障害飛越競技は、高さや幅、色彩や形状の異なる障害物をミス無く飛越していく競技です。そして、国体総合馬術競技は、その両者を兼ねた総合的な調教度合いを競うものです。

馬場馬術競技

長方形(20m × 60m)の馬場内で三種の歩き方である常歩(なみあし)、速歩(はやあし)、駈歩(かけあし)で躍動感に満ちた様々な運動を演じるものです。前進・停止・後退をしたり、あるいは直進・斜め・円形・波形に馬を進めたりして、馬の調教レベル、騎手の技量を競います。

競技場及び採点の尺度は次のようになっています。

〔採点の尺度〕



〔採点の尺度〕

EXCELLENT	10	優秀
VERY GOOD	9	極めて良好
GOOD	8	良好
FAIRLY GOOD	7	おおむね良好
SATISFACTORY	6	基本的な要求を満たしている演技
SUFFICIENT	5	やや不十分
INSUFFICIENT	4	不十分
FAIRLY BAD	3	やや不良
BAD	2	不良
VERY BAD	1	極めて不良
NOT PERFORMED	0	不実施

国民スポーツ大会で実施される馬場馬術競技は次のとおりです。

競技種目	種別	競技日	時間
(1) 馬場馬術競技 ※ FEI セントジョージ賞典馬場馬術科目	成年男子	10月 9日(水)	9:00~
	成年女子	10月10日(木)	9:00~
(2) 自由演技馬場馬術競技 ※ JEF 自由演技国体成年馬場馬術科目	成年男子	10月11日(金)	9:00~
	成年女子	10月12日(土)	13:00~
(3) 馬場馬術競技 ※ FEI ジュニアライダー個人競技馬場馬術科目	少年	10月9日(水)	13:00~
(4) 自由演技馬場馬術競技 ※ FEI 自由演技ジュニアライダー馬場馬術科目	少年	10月12日(土)	9:00~

これらのうち(1)、(3)は、運動科目と順序が決められており、これに応じて演技を行います。力強く躍動感溢れる運動で、規定どおりの図形を正しく流れるよう指定された場所に描き、しかも優美さが感じられるように行われているかどうかを見て頂ければ、一層興味が湧くことと思います。

(2)、(4)の自由演技は、演技方法の構成や音楽の選曲を各自で考えて規定時間内で演技するものです。採点は、①技術点(必須科目を必ず行う)と、②芸術性評価点(芸術的印象、音楽的印象、演出構成など)の合計となります。

障害飛越競技

馬場内に設置された障害物を過失なく飛び越す競技です。障害物を構成する横木の落下や障害前での拒止など過失があると減点となります。走行の際に拒止が3回となると失権（3反抗失権）となりコース走行を途中で止めなければなりません。

障害物は、競技会ごとに趣向を凝らして作られ配置されますから、馬がどんな形や色にも驚かず飛び越えるように調教されていなければなりません。競技で1位が決まらない場合は、規定によりジャンプオフ（決勝競技）を実施することがあります。

国民スポーツ大会で実施される競技は、次のとおりです。

1 成年男子 国体大障害飛越競技、成年女子 / 少年 標準障害飛越競技

この競技は、障害飛越の代表的な競技で、競技場内に障害物が設置され、スタートからゴールまでの定められたコースを走行します。

走行コースの全長に応じて規定時間が決められており、規定時間内に全障害を無過失でゴールすれば減点0です。減点法で採点しますので、減点0もしくは同減点の選手が2名以上いる場合はジャンプオフ（決勝競技）を行います。規定時間のタイムオーバー1秒につき1点ずつ減点され、規定時間のほかに制限時間（規定時間の2倍）というものがあり、これを超えると失権になります。

種別	競技日	時間	実施要項（一部）
少年	10日(木)	11:05～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約500m
成年女子	11日(金)	10:50～	高さ125cm以下、幅145cm以下、水濠幅350cm以下、全長約500m
成年男子	12日(土)	9:00～	高さ140cm以下、幅160cm以下、水濠幅350cm以下、全長約500m

2 成年男子 / 成年女子 / 少年 ダービー競技

この競技は、障害飛越競技の一種ですが、主に自然状態の障害物を飛越し、速度、耐久力及び飛越能力を競うもので、固定障害に横木を乗せた障害や置障害が設置されます。障害飛越競技と同じ減点法で行い、同点の場合は、ジャンプオフを行います。

種別	競技日	時間	実施要項（一部）
成年男子	9日(水)	14:55～	高さ125cm以下、幅150cm以下、18障害以内、全長約800m
成年女子	10日(木)	9:00～	高さ110cm以下、幅150cm以下、18障害以内、全長約800m
少年	12日(土)	13:50～	高さ110cm以下、幅150cm以下、18障害以内、全長約800m

3 成年男子 / 成年女子 / 少年 トップスコア競技

この競技は、難度に応じて40点から120点までの点数がつけられた障害物を、60秒の規定時間内に自分の希望する順序と方向で飛越していきます。

完飛した時のみ得点が与えられ、最高得点を得たものが勝者となる点取り競技です。各障害は、どちらの方向からも飛越でき、同じ障害を2回まで飛越できます。障害の中に1つあるジョーカー障害は、完飛すると200点が与えられますが、万一落下させると200点の減点となり得点に大きく影響します。ジョーカーへの挑戦は、馬の調子と選手の判断によるもので、この競技の見所といえます。

種別	競技日	時間	実施要項(一部)
成年男子	9日(水)	10:50~	高さ90cm~150cm以下、幅180cm以下、規定時間60秒
成年女子	12日(土)	11:30~	高さ90cm~140cm以下、幅170cm以下、規定時間60秒
少年	13日(日)	9:00~	高さ90cm~140cm以下、幅170cm以下、規定時間60秒

4 成年男子 / 少年 スピードアンドハンディネス競技

この競技は、馬の速度(スピード)及び従順さ・御しやすさ(ハンディネス)を競う競技です。コースは急な回転なども含まれており障害物はより変化のあるものが使われます。過失は秒数に換算され(たとえば障害の落下は1回につき4秒)競技者がコースを完走するのに要した時間に加算されて、タイム(秒数)で成績を出します。最短の時間で走行したものが勝者となります。

種別	競技日	時間	実施要項(一部)
少年	9日(水)	12:50~	高さ110cm以下、幅130cm以下、全長約600m
成年男子	10日(木)	13:05~	高さ130cm以下、幅150cm以下、全長約600m

5 成年女子 / 少年 二段階障害飛越競技

この競技は、2段階からなり、第1段階を無過失で走行したもののだけが第2段階のコースに向かうことができます。第1段階で過失があると第2段階に入る前にベルが鳴らされ、2段階には進めません。第1段階は7個の障害物が設置され、規定時間内での無過失走行を目指し、第2段階は5個のやや複雑な障害物が設置されており、無過失と走行時間の短縮を目指します。

種別	競技日	時間	実施要項(一部)
成年女子	9日(水)	9:00~	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m
少年	11日(金)	9:00~	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m

6 成年男子 六段障害飛越競技

この競技は、直線上に約 11m の間隔で配置された 6 つの垂直障害を連続して飛越するもので、馬の力と技量を試す競技です。

第 1 回目の走行（高さは最終障害が 150cm になるように配置され、第 1 障害から、第 5 障害の高さはコースデザイナーが決定します。）で無過失の競技者が 2 名以上の場合は、ジャンプオフとして障害の高さを上げて競技を続行します。人の目線より高い連続した障害物を飛越する様子は迫力があり見ごたえがあります。

日本記録は平成 26 年 JRA ホースショーで林義昌選手とキャリーズサン号が跳んだ 199cm、国体記録は平成 25 年東京国体での林義昌選手とキャリーズサン号（千葉県）の 197cm です。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年男子	13日(日)	10:45～	第 1 回目の最終障害の高さ 150cm

7 少年 リレー競技

この競技は、1 チーム 2 名が競技場に入り、コースの前半と後半を走行する競技者とに分かれ、指定された障害間で第 1 競技者と第 2 競技者が交代します。

第 1 競技者が前半最後の障害を飛越し着地した時点で第 2 競技者と交代できます。

走行時間は、第 1 競技者がスタートラインを通過した時から、第 2 競技者がゴールラインを通過した時までを計測します。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
少 年	11日(金)	13:10～	高さ 120cm 以下、幅 140cm 以下、全長約 650m

8 少年 団体障害飛越競技

この競技は、各ブロックで予選を行って出場枠を勝ち得たチーム（ただし、関東・九州ブロックは 2 都県）と開催県の 12 チームで行われる競技です。

競技は、各チーム 2 名がチームの馬 1 頭に騎乗し、それぞれ同じコースを走行して 2 名の合計減点と合計タイムで順位を決定します。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
少 年	10日(木)	15:00～	高さ 110cm 以下、幅 130cm 以下、全長約 500m

国体総合馬術競技

国体総合馬術競技は2日間にわたって行われ、第1日目の馬場馬術競技・第2日目の障害飛越競技の成績の合計によって順位が決められます。

● 成年男子 国体総合馬術競技

① 第1日目 馬場馬術競技

この競技は、馬場馬術競技場で行われ、馬の能力と馬体の調和した発達を見ることが主眼になります。

各審判員の採点の結果を平均したものを、獲得し得る最高得点から差し引いたものに1.5を掛けたものが成績となります。(減点法)

② 第2日目 障害飛越競技

この競技は、障害飛越競技場で行われ、障害物の落下や、拒止、規定時間の超過などは、減点の対象となります。

以上の①・②の成績の合計により順位が決められます。

種別	種目	競技日	時間	実施要項(一部)
成年男子	馬場馬術競技	10日(木)	12:30~	FEI総合馬術競技3スター2024馬場馬術科目B
	障害飛越競技	11日(金)	15:05~	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m

■ 障害飛越競技の採点方法 ■

1 障害物の落下



障害物を落としたり、壊したときは、4点が減点される。障害がくずれるほど壊しても、バーをポロリと落としても同じです。

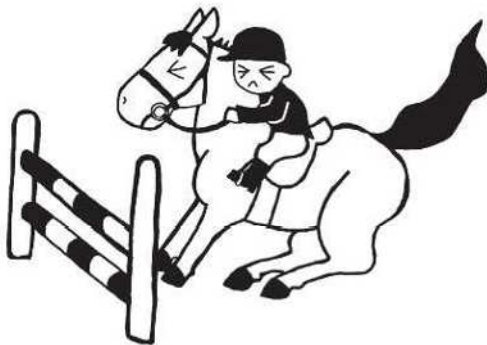
4 不従順：巻き乗り等



馬が騎手の言うことを聞かずに、コースで勝手に円を描いたり、前に進まないで後退したりすると4点減点。3回目になると失権となる。

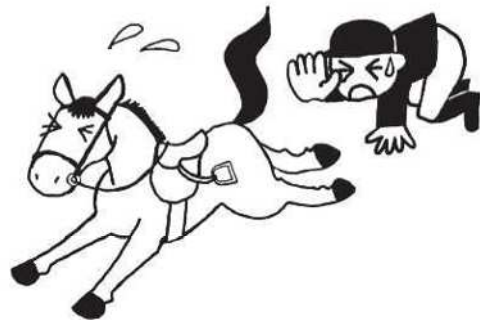
また、不従順等で45秒間以内に次の障害を飛ばないと失権となる。

2 不従順：拒止（きよし）



馬が障害物の前で止まると、拒止とみなされ、4点減点され、3回目になると失権となる。

5 落馬・馬の転倒・経路違反



落馬、馬の転倒、経路違反(間違った障害を飛ぶ)は、その場で失権となる。

3 不従順：逃避（とうひ）



障害物の手前で馬が飛ぶことをきらって、左右どちらかに逃げたときは、逃避といって4点減点され、3回目で失権となる。

6 規定時間のオーバー



障害競技(減点法)には、規定時間(規定時間はそのコースの全長と定められた速度によって決まってくる)がある。その規定時間をオーバーすると1秒ごとに1点減点される。